

大会名 Competition	第24回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-111	Year Month Day Time 2011 年 5 月 5 日 9 : 00
場 所 Place	能代市総合体育館



チーム A		チーム B
洛南高校	(16 1st 30 16 2nd 14 20 3rd 24 16 4th 35 OT)	延岡学園
68 ●		103 ○

主審:Referee
佐藤 匠 (秋田県)
副審:Umpire
信太 悦美 (秋田県)
テーブル・オフィシャルズ:Table officials
能代商業高校

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F
4	×	大元 孝文	cap	18	4	3	0	1	4	×	岩田 大輝	CAP	5	0	2	1	2
5	×	荒谷 優斗		18	2	6	0	1	5	×	ジョフ バンバ		38	0	18	2	0
6	/	井島 啓貴		0	0	0	0	1	6	×	寺原 拓史		9	1	3	0	3
7	×	澤 義 柳		2	0	1	0	0	7	×	黒木 亮		14	0	6	2	2
8	/	清水 久能		6	0	3	0	1	8	/	田中 駿也		7	1	2	0	0
9	/	伊藤 諄哉		2	0	0	2	1	9		善家 耕太郎		-	-	-	-	0
10	/	河合 祥樹		3	1	0	0	2	10	/	岡本 飛竜		4	0	2	0	0
11	/	伊藤 達哉		0	0	0	0	0	11		中島 蒼		-	-	-	-	0
12	×	仁平 拓海		4	0	2	0	2	12	/	佐藤 友弘		3	0	1	1	0
13		宮脇 隼人		-	-	-	-	0	13	/	寺園 脩斗		2	0	0	2	0
14		成田 穂高		-	-	-	-	0	14	×	ベンドラメ 礼生		21	0	9	3	0
15	×	寺部 亮佑		15	0	7	1	2	15	/	山田 将吾		0	0	0	0	0
16	/	西戸 良		0	0	0	0	0	16		平田 貴大		-	-	-	-	0
17	/	森井 健太		0	0	0	0	1	17		野中 亮吾		-	-	-	-	0
18		渡部 裕地		-	-	-	-	0	18		夏井 隆光		-	-	-	-	0
コーチ		吉田 裕司							コーチ		北郷 純一郎						
Aコーチ		作本 信夫雄							Aコーチ		丸岡 英文						
合 計				68	7	22	3	12	合 計				103	2	43	11	7

※ ×:スターター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3P* インドシュート 2P:2P* インドシュート FT:フリースロー F:ファウル

1Q、両チームともマンツーマンディフェンスでスタート。延岡は#5ジョフのインサイド、#14ベンドラメのドライブ、#7黒木のオフェンスリバウンドからの得点でリードするが、洛南は#4大元の3P、#5荒谷の3Pやジャンプシュートで得点を重ね、序盤は均衡した展開となる。しかし中盤、延岡#14ベンドラメのスティールからの速攻を止めた洛南#7木澤のファウルがアンスポーツマンライクファウルとなり、流れは延岡に傾く。延岡#14ベンドラメはこのフリースローを2本決め、その後も立て続けにジャンプシュートを決める。最後は#10岡本の速攻がブザービーターとなり、16-30と延岡14点リードで1Q終了。

2Qは一進一退の攻防となる。洛南は#12仁平、#15寺部のインサイド、#8清水のドライブなどで反撃を見せるが、延岡#5ジョフの強力なインサイドプレイによりなかなか得点差は縮まらない。32-44と延岡がリードを保って前半を終了する。

3Q、延岡がリードする展開は変わらず、#5ジョフのインサイド、#6寺原のドライブなどで着実に加点する。対する洛南も#4大元の3Pや#5荒谷のジャンプシュート、#15寺部のインサイドプレイで応戦するものの得点差を縮めることができないまま52-68で3Q終了。

4Q、洛南はディフェンスをオールコートに切り替え、プレッシャーを強める。しかし、延岡はこのディフェンスに対応し、逆に速い攻めから#14ベンドラメが連続得点し、さらにリードを広げる。洛南も#4大元、#10河合の3Pで追いつくが、要所でミスが目立ち、得点を伸ばせない。延岡は#5ジョフの速攻や#7黒木のインサイドでさらに得点を伸ばし、結局68-103で勝利した。